

# 第1学年1組 学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 平成27年9月16日（水）13時30分～14時15分 1年1組教室

2. 議題 「みんななかよし ぜんきおもいでしゅうかいをしよう」

### 学級目標

いつも にこにこ あかるく げんき  
みんな たのしく ちからを あわせる  
なかよし ぐらす

3. 議題について

#### （1）児童の実態

24名の学級である。明るく素直で何事にも真面目に頑張る子が多い。入学当初、新しい小学校の生活に期待をもち、さまざまな活動に意欲的に取り組み楽しもうとする子が多い中、新しいことに慣れるのが難しく、学校生活に対し不安を感じている子もいた。そこで、早く学校生活に慣れたりクラスの間関係をつくったりすることを目標に、集会をしたり、帰りの会の中で友だちのよさを認め合ったりする活動を行ってきた。今では友だちの良かったことや頑張ったことを認め、発表する子が増えてきている。

これまで、子どもたちは4回の学級会を経験している。2回目までの学級会では、担任が司会、黒板記録の役割を担ってきた。これは学級会の仕組みを子どもたちに教えることをねらいとしてきたからである。

1・2回目の学級会では、「みんなのなかよし集会をしよう」という同じ議題で、1時間の中で25分ほど話し合った。そして残りの時間で決まった遊び「ハンカチ落とし」「ばくだんゲーム」を行った。3回目からは子どもたちにも司会と黒板記録の役割を少しずつ任せ、担任と一緒に進めながら学級会を行った。「雨の日集会をしよう」という議題から教室遊びに限定し、話し合いを行った。子どもたちからは、「教室なんだから走らない遊びがいいよ。」といった意見も出た。3回目の学級会后、自分たちも司会や記録をやってみようという思いから、早く学級会をしたいと進んで議題カードを議題箱に入れるようになっていった。4回目は、初めて子どもが司会グループの役割を担い、45分間での話し合い活動を行った。「夏休み前に、みんな楽しく遊びたい。」という子どもの思いから、「なつの中 なかよし しゅうかいをしよう」という議題で、プログラムを決め、その中の遊びを何にするかについて話し合った。「王様ジャンケンをすれば、みんなと必ず1回はジャンケンができるから、なかよしになれるよ。」といっためあてを意識した発言も出てくるようになってきている。黒板記録は、賛成マークや短冊を貼る役割を担当している。

今回の学級会では、「みんななかよし ぜんきおもいでしゅうかいをしよう」について話し合う。そして、初めて話し合いの柱を2つにする。柱1の「何をするか」では、みんながもっとなかよくなるために、どのような遊びをするのかについて話し合いを行う。柱2の「どのようにするか」では、決まった遊びの中に、前期の思い出を伝え合うようなやり方の工夫について話し合う。これまでの学級会においても、やり方の工夫につながる発言は出てきてはいたが、実際に学級会の柱として取り上げることは今回が初めてである。

これまで以上に話し合いのめあてを子どもたちが共通理解し、めあてを意識した話し合い活動になるよう事前の準備をしっかりと行いたい。そして、この学級会を通して、話し合いのめあてを意識しながら集団決定ができるようになってほしい。

また、今回から事前の活動の中でも、司会グループが少しずつ役割を担っていけるようにする。事前に集会のプログラムを司会グループと決めておく。柱1の「何をするか」で決めた遊びを柱2の「どのようにするか」につなげて話し合えるよう、あらかじめ「何の遊び」をしたいのか子どもの考えを事前に集め、4つ程度に絞っておく。これにより「どのようにするか」の話し合いの時間を確保できるようにしたい。また、本議題と話し合いのめあてなどを後方黒板に掲示しておくことで、子どもたちは学級会の流れをイメージしやすくなると考える。担任はサポート司会という立場で、司会グループの子どもたちが自信をもって役割を果たせるように支援したい。

1年生の発達段階から、話し合い活動では自分の意見をみんなに伝えることをねらいの一つとして、心配意見ではなく賛成意見を中心とした話し合いが展開できるよう声をかけてきた。また、理由も添えて自分の意見を発言するよう指導してきた。今回の学級会では、学級会ノートなどを活用しあらかじめ自分の考えを整理することで、子どもたち一人一人が、自分の意見に自信をもち、意欲的に学級会に参加できるようにしたい。

これまで大切にしてきたことは、学級会という場は自分の思いや願いを話し合うことで、自分たちの思いを実現できる場であると子どもたちに実感できるようにしてきたことである。これまでの学級会の経験を生かし、自分たちで話し合っ決めて実践する中で、みんなで集会をする楽しさや、大変さ、達成感を得ながら、学級活動を楽しんでいると感じてほしい。

#### 4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

#### 5. 活動の実践

##### (1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
9月3日(木)	・「前期の終わりに、みんなで楽しく遊べる集会所がしたい。」という思いが子どもから寄せられる。	○事前に、議題箱の使い方を確認し、どのような集会所をしたいか子どもたちに投げかけておく。 ☆学級生活を楽しくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
9月7日(月) 中休み	・司会グループで、議題や柱、話し合いのめあてについて話し合って決める。	○教師が中心となって司会グループの子どもと話し合い、集会所について議題を選べるようにする。 ☆寄せられた議題案の中から議題を選ぼうとする。 (集団活動や生活についての知識・理解)
9月9日(水) 朝の会	・司会グループが議題の柱1と話し合いのめあてを伝える。	○教師と司会グループが話し合いのめあてを伝えることで、みんながめあてにそった遊びを考えられるようにする。 ☆みんなに分かるように議題とめあてを伝えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
9月11日(金) 朝の会	・議題に対する意見を集める。	○一人一人が自分の考えがもてるようにするため、学級会ノートに自分の意見を記入するようにする。 ☆話し合いのめあてにそった遊びを考えようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
9月11日(金) 中休み	・司会グループが教師と一緒に集まった意見を分類整理し、本時で取り上げる意見を絞り込む。	○集団決定しやすいように、4個程度の意見にしぼる。
9月14日(月) 朝の会	・提示した遊びの中から、自分のやりたいものを選び、学級会ノートに書く。	☆話し合いのめあてにそって、何の遊びをやるとよいか自分なりに考え、書いている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
9月15日(火) 9月16日(水) 中休み	・司会グループが教師と一緒に学級会の進め方について確認する。	○教師の指導のもと進行の確認を行い、自信をもって学級会に臨めるようにする。 ☆学級会の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)

(2) 本時の活動

①ねらい みんながもっと仲良くなれるよう、集会で言う遊びを話し合って決める。

②活動計画

児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)
<p>1. はじめの言葉 (指名司会)</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認 (進行司会) 「みんななかよし ぜんきおもいで しゅうかいを しよう」</p> <p>4. 提案理由の確認 (提案者)</p> <p>5. 話合いのめあての確認 (黒板記録) 「みんなが もっとなかよくなれる ような ぜんきおもいでしゅうかいにするために はなしあおう」</p> <p>6. 決まっていることの確認 (黒板記録)</p> <p>7. 先生の話</p> <p>8. 話合い 柱1 「どんな あそびにするのか きめよう」 柱2 「どのように するか きめよう」</p> <p>9. 決まったことの確認 (ノート記録)</p> <p>10. ふり返り</p> <p>11. 先生の話</p> <p>12. おわりの言葉 (指名司会)</p>	<p>○安心して学級会が進められるように、台本を用意し、話合いの進め方を司会グループと事前に確認しておく。</p> <p>○はじめの言葉、おわりの言葉は、指名司会が担当することで、活躍の場が指名だけにならないよう配慮する。</p> <p>○担任はサポート司会という立場で、話合いに参加し、助言、補足説明など、必要に応じて行う。</p> <div data-bbox="667 667 1412 913" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(提案理由)</p> <p>「前期もそろそろ終わりになります。これまでの学校生活を思い出し、もっとなかよくなれる 集会がしたいと思いました。学級目標の【なかよし くらす】のように、みんなで集会の遊びを決めて、みんながもっと仲良くなれるようにしたいです。」</p> </div> <p>○話合いのめあてからそれた場合は、めあてや提案理由を再確認するよう全員に声をかける。</p> <p>○短冊を用意し、意見を整理できるようにする。</p> <p>○目安の時間を掲示しておくことで、時間意識をもって話し合うことができるようにする。</p> <p>○司会グループが学級会を進める中で困っているときには、すぐに支援する。</p> <p>○思い出を生かす工夫となるよう、声をかける。</p> <p>☆台本や担任の助言をもとに、司会グループとして、自分の役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆めあてに向かって話合いに参加しようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○話合いの中で見つけた友だちのよさや、話し合っていて楽しかったことなどについて理由をつけて発表するよう助言する。</p> <p>○実践に向けて意欲を高めるために、司会グループのがんばりや、めあてを意識した発言、前回と比べてよかったこと、児童のよかったところなどを賞賛する。</p>

③板書計画

はしら② (どのようにするか きめよう)  
 せんきに がんばったことを はなす  
 みんなで はくしゅをする

はしら① (どんな あそびにするのか)  
 たから さがし  
 ばくだん げえむ  
 なんでも ばすけつと  
 ふるうつ ばすけつと

「きまつて いること」  
 ・日時…9月29日(火)  
 5時間目  
 ・場所…1年1組 教室  
 ※あそびは 1つ きめます。

「きまつた こと」

⑤ おわりの ことば

④ せんせいの はなし

③ ふりかえり

② あそび

① はじめの ことば

・プログラム…

「きまつた こと」

⑤ おわりの ことば

④ せんせいの はなし

③ ふりかえり

② あそび

① はじめの ことば

だい5かい 1ねん1くみ なかよし がつきゅうかい

「きまつた こと」

⑤ おわりの ことば

④ せんせいの はなし

③ ふりかえり

② あそび

① はじめの ことば

(3) 事後の指導

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
9月17日(木) 朝の会	・役割分担をする。	○これまでの経験から必要な役割を考え、クラス全員で分担できるように、教師が支援をする。 ☆必要な役割分担を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
朝の時間や休み時間 など	・集会の準備を行う。	○集会活動に向けて、準備がスムーズに進められるように決まったことを教室に掲示する。 ☆友だちと協力し合って、集会の準備をしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
9月29日(火) 5時間目	・「みんな なかよし ぜんきおもいでしゅうかいをしよう」をする。	○安全に取り組めるよう見守り、必要に応じて助言する。 ☆友だちと仲良く協力して集会に取り組んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
9月29日(火) 帰りの会	・活動のふり返りをする。	○活動についてよかったところや、次にどんなことをしたいかなどを中心にふり返り、発表するよう助言する。 ☆活動について、自分の取り組みや学級の取り組みについてふり返り、次に生かそうとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)